

**基本情報**

科目分類	総合教養科目	開講年次	1・2・3・4年
時間割コード	3U106	開講区分	第3クォーター
開講科目名	E S D生涯学習論 A	曜日・時限	月5
主担当教員	松岡 広路	単位数	1.0
授業形態	講義	ナンバリングコード	U1BB100

[担当教員一覧](#)**詳細情報**

<p>■ 授業のテーマ</p> <p>(ESDコース修了認定科目) (学芸員・社会教育主事資格科目)</p> <p>ESDとは、あらゆる人が互いに連携・協働しながら持続可能な開発を実現する主体になるような仕組み（場・装置・活動）のことです。 ESDコースでは、さまざまな社会セクターのなかでESDが立ち現れる仕掛けを作っていく「新しいタイプのリーダー」を育成します。</p>
<p>■ 授業の到達目標</p> <p>ESD生涯学習論Aでは、多様な社会教育実践を通じて、ESDの世界に触れ、SDを探究する面白さを感じながら、理想を追うことの楽しさや専門を総合化することの大切さを学んでもらいます。</p> <p>ESDコースの他の科目とともに履修してもらうことで、ESDが立ち現れる仕掛けをつくる実践者（practitioner）としての「構え」（ESDに必要な価値・態度・技術）を、いったん身につけることを目的としています。</p>
<p>■ 授業の概要と計画</p> <p>ESDの概念を明らかにしつつ、生涯学習の各領域との関連性を考究する。</p> <p>・世代のつながり、あらゆる世代における学び、学校教育の範疇を超えた学習テーマや社会的課題を巡っての学習が総動員されてESDがすすむ</p> <p>遠隔授業（Zoom)中心 (コロナウィルス感染等の状況によって変更有)</p> <p>【授業の進め方（予定）】</p> <p>1回 10/4 ガイダンス「ESDと生涯学習」 2回 10/11 拡張する学びの地平1～空間論 3回 10/18 拡張する学びの地平2～時間論 4回 10/25 2・3回目の授業を踏まえて 5回 11/1 持続可能な開発という学びのベクトル～SDGs とESD 6回 11/8 Valueか、Processか、学びのスタイル 7回 11/15 5・6回の授業を踏まえて ESDの多様な方法（学校教育的・社会教育的な方法の違い） 8回 まとめ</p>

■ 成績評価方法
授業への積極的な出席状況（50%）、レポート（50%）を総合化して判断する。
■ 成績評価基準
問題関心の高さ、授業への積極性、授業の理解度の観点で、90点以上をS（秀）、80点以上90点未満をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とする。
■ 履修上の注意（関連科目情報）
ESD生涯学習論B（4Q）またはESD論B（4Q）と合わせて履修すること。 また、ESDコースの基礎科目群の「ESD基礎（2Q）」または「ESDボランティア論（2Q）」を履修していることが望ましい。
■ 事前・事後学修
各回のテーマに沿って事前に情報を調べたり、授業後には得られた知見について各自調べて整理すること。
■ 学生へのメッセージ
ESDを実質化する生涯学習のあり方をともに探求しましょう。  ESDに関連する科目を履修して、ESDコース修了認定を目指してみよう。 ESDコースについては、人間発達環境学研究科のホームページを参照してください。 <a href="http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd">http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd</a>
■ 教科書
特に指定しないが、生涯学習やESDに関連する書籍は多く出版されているので、各自で読んでみてください。主体的な学びの姿勢を求めます。
■ 参考書・参考資料等
授業中に指示する
■ 授業における使用言語
日本語
■ キーワード
持続可能な開発 生涯学習 エンパワメント 環境教育 開発教育 人権教育 福祉教育
■ 参考URL
<a href="http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd">http://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/lecture/b-esd</a>

## 担当教員一覧

教員	所属
松岡 広路	人間発達環境学研究科
清野 未恵子	人間発達環境学研究科